

レジオネラ症ってどんな病気？ ～家庭でできるレジオネラ症対策～



どんな病気？

レジオネラ症とは、レジオネラ属菌による感染症です。重症の肺炎がおこる「肺炎型」と、発熱など軽い症状の「ポンティアック熱型」があります。レジオネラ属菌は川や土の中など自然界に広く生息しています。

どんな症状がでるの？

レジオネラ肺炎は、潜伏期間 2 ～10 日の後、倦怠感（体のだるさ）、頭痛、筋肉痛の症状で始まり、その後、咳や痰、発熱、胸痛、呼吸困難（呼吸が苦しい）が出現します。意識が低下したり、下痢がみられることもあります。急速に症状がすすみ、命にかかわることもあります。

ポンティアック熱は、潜伏期間 1 ～ 2 日の後、発熱、悪寒（寒気を感じる）、筋肉痛の症状がみられますが、2 ～ 5 日程度で自然に治ります。

どうやってうつるの？

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（小さいしぶきなど）や土埃などを吸い込むことにより、感染します。原則としてヒトからヒトへ感染することはありません。温泉や入浴施設、冷却塔、加湿器等で増殖した菌を吸い込んだことによる感染がみられています。

家庭ではどんなことに気を付ければよい？

家庭内で、レジオネラ属菌が増えやすい場所としては**循環式の浴槽**や**加湿器**があげられます。レジオネラ属菌はバイオフィルム（微生物で形成される「ぬめり」）の中で増殖しやすいため、水回りにぬめりが生じないように清掃しましょう。

循環式浴槽管理のポイント



24時間風呂などの循環式のお風呂の場合はレジオネラ属菌が増えないよう、取扱説明書の指示に従い、定期的に管理・清掃しましょう。

加湿器管理のポイント



レジオネラ属菌は**60℃5分間**で殺菌されるため、**加熱を伴わない加湿器には特に注意**が必要です。



加湿器のタンクは**毎日清掃**し、ぬめりが生じないようにしましょう。また、水は継ぎ足さず、入れ替えましょう。

治療法は？

治療には、ニューキノロン、マクロライドなどの抗菌薬を使用します。

レジオネラ症を予防できるワクチンはありません。